

《海港と空港の連携》

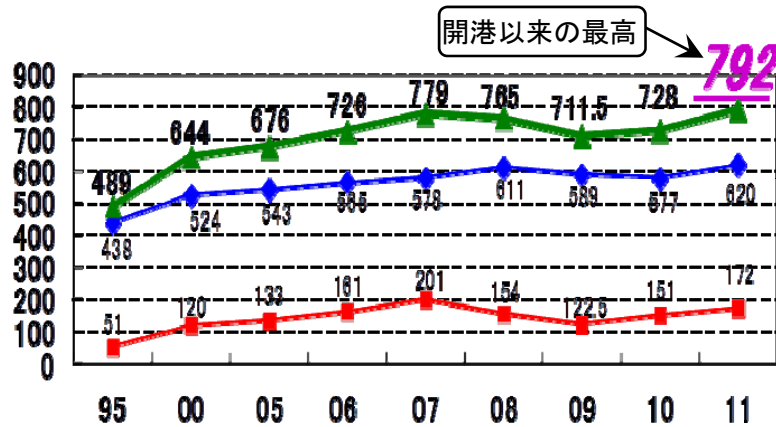
平成23年度
関西国際空港における
航空物流機能強化の取組

戦略的な国際航空ネットワークの形成・1

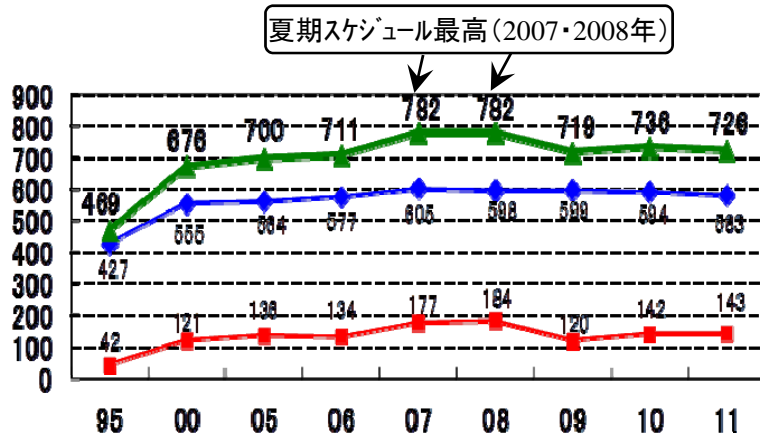
関空の国際線便数・ネットワーク（2011年冬期スケジュール）

○国際線就航便数の推移

（便/週） 国際線（冬期スケジュール）就航便数 推移



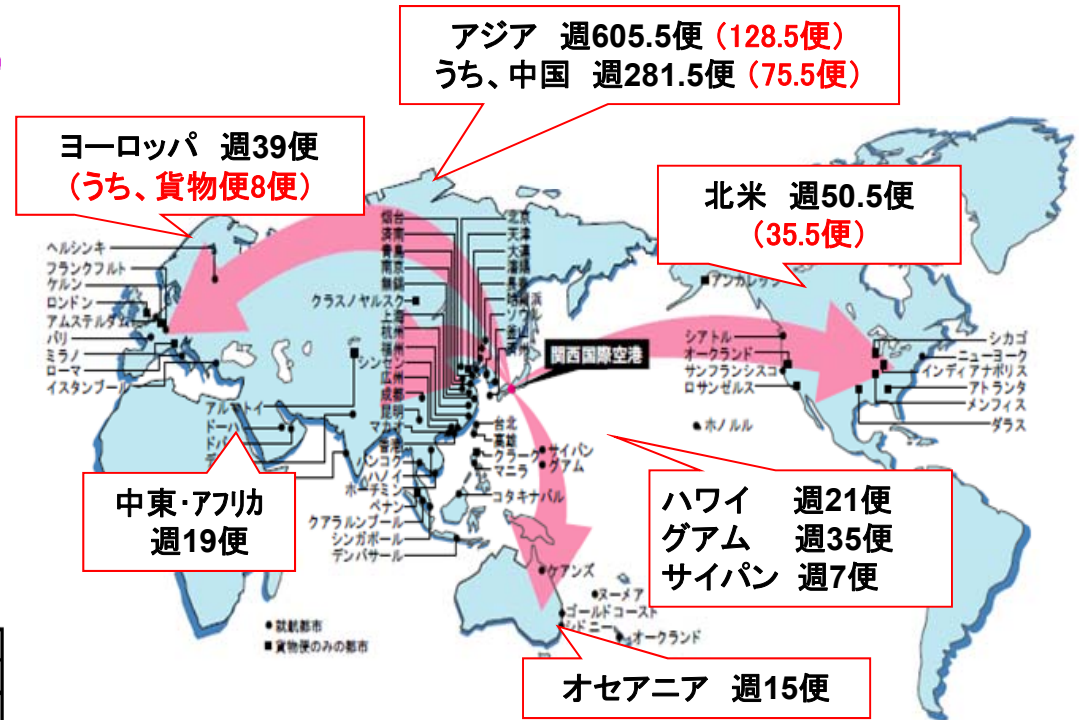
（便/週） 国際線（夏期スケジュール）就航便数 推移



※青色は旅客便数、赤色は貨物便数、緑色は合計便数である。

（関西国際空港(株)調べ）

○国際線就航状況＜2011年冬期スケジュール＞



航空会社数	57社
就航国（地域）数	25ヶ国・地域
就航都市数	69都市
就航便数	792便/週

就航国（地域）
 アメリカ、〈グアム・サイパン〉、イギリス、フランス、ドイツ、オランダ、イタリア、フィンランド、トルコ、ロシア、カザフスタン、UAE、カタール、韓国、中国、〈台湾〉、フィリピン、ベトナム、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

※ 冬期スケジュール期間中のピーク月（3月）の計画です。

戦略的な国際航空ネットワークの形成・2

2011年夏期スケジュール以降の国際貨物便の新規就航・増便

2012年1月31日現在

	方面	路線	航空会社	内容	開始時期	
貨物便	北米	アトランタ	チャイナエアライン	新規 (0→0.5便)	'11/ 6月	
			エバー航空	新規 (0→1便)	'11/ 10月	
		ニューヨーク	チャイナエアライン	新規 (0→0.5便)	'11/ 6月	
			エバー航空	新規 (0→0.5便)	'11/ 10月	
		シカゴ	チャイナエアライン	新規 (0→3便)	'11/ 10月	
		ダラス	エバー航空	新規 (0→1便)	'11/ 10月	
	チャイナエアライン		新規 (0→1便)	'11/ 12月		
	中国	上海 (大連経由)	中国国際貨運航空	+週3便(0→3便)	'11/ 3月	
		上海	中国貨運航空	+週7便(7→14便)	'11/ 10月	
		天津 (大連経由)	中国貨運郵政航空	+週5便(新規)	'11/ 3月	
		香港	香港航空	新規 (0→2→3便)	'11/7,8月	
	アジア	シンガポール(香港経由)	シンガポール航空カーゴ	新規 (0→2便)	'11/ 5月	
		クアラルンプール	マレーシア航空	新規 (0→1→2便)	'11/ 9,11月	
		台北	チャイナエアライン	+週5便 (4.5→5.5→8.5→9.5便)	'11/ 6,10,12月	
			エバー航空	+週2.5便(2.5→5便)	'11/ 10月	
	フェデラルエクスプレス				+週8便(37→45便)	'11/ 10月
					計 +週45便	

戦略的な国際航空ネットワークの形成・3

関空の貨物便就航路線ニーズ調査結果（平成23年度）

○調査内容

- 1 各社の物流の現況
- 2 関西空港の貨物便就航路線として各社の物流に必要な路線
- 3 各社の航空物流動向に関する2011年度後半以降の見通し
- 4 その他、関西国際空港の航空物流利用に対するご意見・ご要望

○調査実施主体

国際物流戦略チーム・関空国際物流効率化推進協議会
 （公益社団法人関西経済連合会・大阪府・関西国際空港株式会社）

○調査対象

関西に生産拠点を有する主要企業・物流拠点を有する主要企業等
 （調査配布あたっては以下の各団体様のご協力をいただきました）
 公益社団法人関西経済連合会・大阪商工会議所・京都商工会議所

○調査期間

平成23年9月7日～9月30日

○ご回答企業数

103社

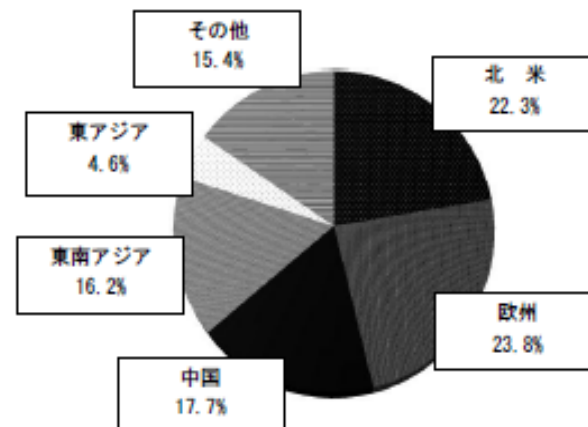
貨物便就航路線ニーズ・ご要望調査 ご回答企業名（※） （50音順）
 ※企業名の公表をご承諾いただきました企業様のみを掲載しております。

N I 帝人商事(株)、エムジーファーマ(株)、オムロン(株)、関空運輸(株)、(株)京都科学、楠本化成(株)、(株)クラレ、ケイラインロジスティクス(株)、コカ・コーラウエスト(株)、塩野義製薬(株)、(株)島津製作所、シャープ(株)、住友金属工業(株)、大成機工(株)、大日本スクリーン製造(株)、(株)タカセコーポレーション、テイカ(株)、DSP五協フード&ケミカル(株)、DSファーマバイオメディカル(株)、東洋電機製造(株)、(株)ニチゾウテック、日新電機(株)、日精(株)、パナソニック(株)、阪和興業(株)、阪和電子工業(株)、(株)ひろ、ファイザー(株)、古野電気(株)、(株)堀場製作所、村田機械(株)、(株)村田製作所、(株)ヤクルト本社、郵船ロジスティクス(株)、(株)ユタカ、(株)レザック、レンゴー(株)、(株)ロジスティクス・サポート&パートナーズ

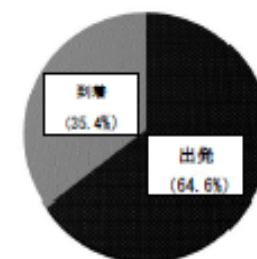
公表可 38社
 ほ か 65社
 計 103社

1. 【方面別ニーズ・ご要望の結果】

関空から欧米方面への就航・増便要望がほぼ半数を占め、次いで中国、東南アジアなどアジア方面へのニーズが存在。



【出発・到着の割合（全回答数）】



【前回、前々回との比較】

	2011年度	2010年度	2009年度
北米	22.3%	25.9%	25.3%
欧州	23.8%	24.8%	24.4%
中国	17.7%	21.1%	21.0%
東南アジア	16.2%	14.0%	14.3%
東アジア（中国除く）	4.6%	8.7%	8.5%
その他	15.4%	6.5%	6.6%

- ・これまでの調査結果を振り返ると、北米、欧州方面に安定した貨物便就航の要望がある結果となった。
- ・2011年度調査結果では、東南アジア方面への要望が増加傾向にある。
- ・また、その他方面への要望が増えており、様々な方面への路線を求める声が出てきている。
- ・なお、過去の調査結果と比較して回答企業数に変化はあるものの、方面別ニーズの要望は概ねこれまでと同じ傾向にある。

関空後背地における国際航空貨物動向調査結果

●背景

関空のネットワーク網が不十分なため、関西を中心とする関空後背地を発着する国際航空貨物の一定量が、成田をはじめとする関空以外の空港を利用しており、利用者からは関空のネットワーク網充実による利便性向上への強い要望がある。しかしながら、実際の物流動向については、従前明らかになっていなかった。

関空後背地を発着する国際航空貨物が、「どの国内空港から（へ）」、「どの海外都市へ（から）」、「どのくらいの貨物が」、**輸出（入）されているのか**を調査することで、ネットワークニーズを明らかにし、エアライン誘致への取組の一助とする。

●2010年度調査概要

【調査対象】

関西に事業所を有する航空フォワーダーにより構成される「関西国際航空貨物運送協会」（KIFA）加盟の各事業所が、2010年（暦年）に取り扱った国際航空貨物。
（協力事業者数 輸出：12社、輸入：7社）

【結果】

今回調査の対象とした世界38都市との航空機を利用した貨物輸出入において、輸出は**約10.4%**、輸入は**約12.5%**の貨物が、関空以外の空港を利用していた。

〔対象貨物：大阪税関関空支所で通関手続きを行った航空貨物〕

2010年に関空後背地から輸出入された国際航空貨物のうち、**輸出はB747型（ジャンボ）貨物専用機約300機分（※）、同じく輸入は約370機分の貨物が関空以外の空港を利用して輸出入されていたと推計。**

※B747型貨物専用機1機あたりの貨物搭載量を100tとして試算

■輸出入先地域ごとの関空以外の空港の利用率

輸 出	関空以外の利用率(%)	輸 入	関空以外の利用率(%)
地 域 名		地 域 名	
中 国	5.9	中 国	12.1
東・東南アジア (除く中国)	7.2	東・東南アジア (除く中国)	15.0
北 米	23.4	北 米	14.7
欧 州	18.6	欧 州	9.8

※数値は、対象とした都市の数値をもとに算出した地域別の平均値

現状ネットワークが不足し、利用者から就航ニーズの強い、「北米」「欧州」向け貨物において、**関空以外の空港の利用率が高い結果となった。**

2011年度も継続調査を実施

■理 由

- ・統計としての継続性
- ・統計精度の向上
- ・東日本大震災以降の航空貨物の動向把握

■調査対象、内容

- ・前年度と同じ

■進捗状況

- ・関西国際航空貨物運送協会（KIFA）のご協力のもと同協会傘下事業者に調査を依頼
- ・現在、集計作業中

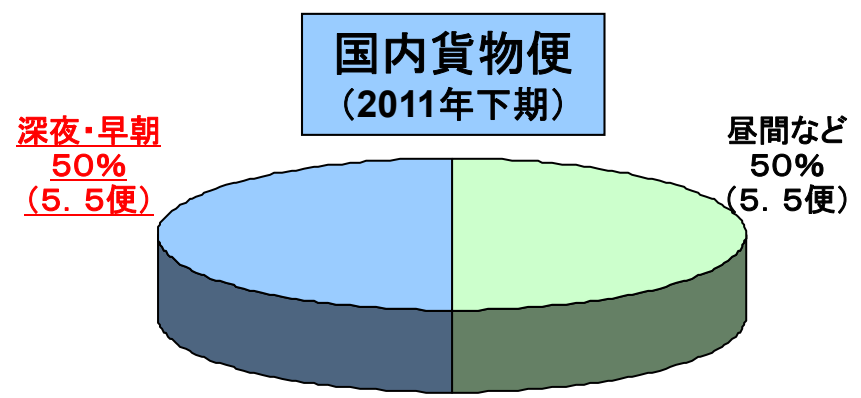
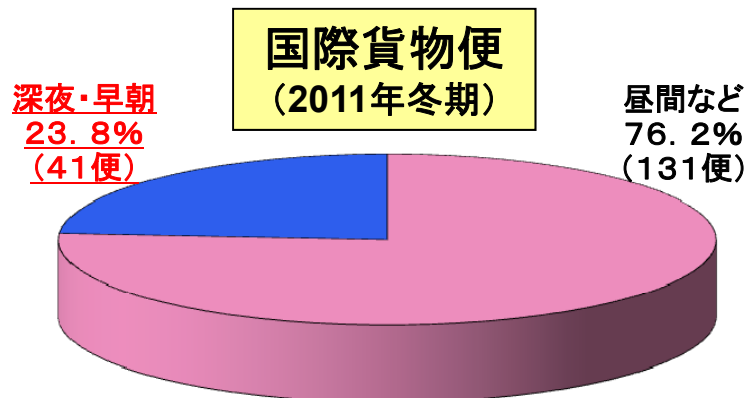
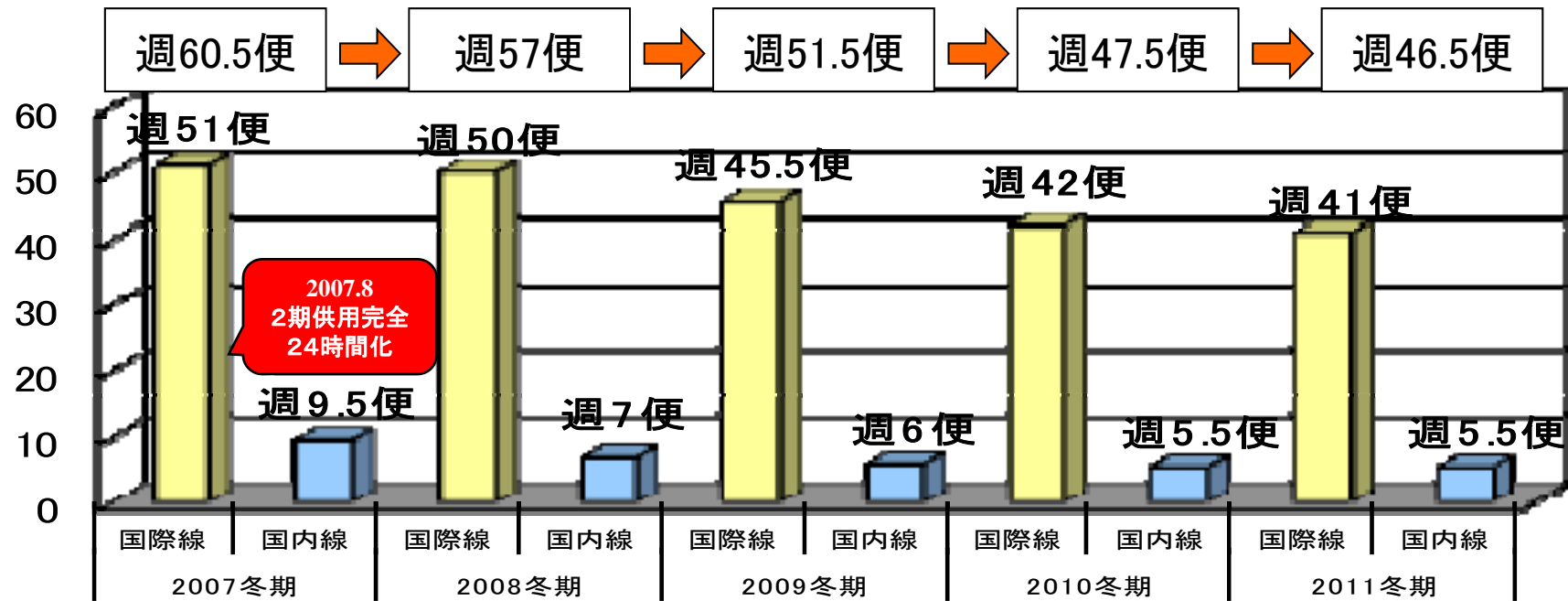
■公表予定

- ・平成24年3月末を目処に公表の予定

関空の24時間物流の促進

関空の深夜早朝便（23:00～翌6:00）の推移

2007年8月の2期開港以降、深夜早朝貨物便は概ね高い割合（約3割）を維持。



(関西国際空港(株)調べ)

『創貨』の取組 平成22年度『関空物流ニュービジネスモデル』の継続平成23年度も引き続き実施 『KIX AIR CARGO MEETING』の開催

民間企業による積極的な取組を支援する制度「関空物流ニュービジネスモデル」平成22年度認定5事業を継続支援
平成23年度は『医薬品』『食品』に焦点を当てた取組の募集を開始(2012年1月23日～3月9日)

平成22年度認定5事業進捗状況

事業名	事業者名	事業概要	進捗状況	戦略テーマ等サポート
1 関空を活用した、中小メーカー・生産者のための中国進出ビジネスサポート	ACROSS JAPAN 株式会社	中国(瀋陽)向けに、関西産地の「加工食品」の輸出・販売を拡大するために、関空を利用した物流システムを開発し、輸出関連手続き・現地販売の側面支援を行う	「東日本大震災」の影響で事業開始は遅れる。現在、関西の各サプライヤー(スイーツ等)との打ち合わせを行い、年度内のBtoBイベントの開催を目指し取り組みを続けている。	ALL関西「食」輸出セミナーでの商談会の開催。
2 中国向け鮮魚輸出モデルの開発	ANAロジスティックサービス株式会社	近隣漁港で水揚げされた鮮魚を関西空港から中国へ高速輸送するモデルルートを開発し、鮮度・安全性をセールスポイントとした「関空ブランド商品」として、上海に流通網を開拓する。	「東日本大震災」の影響で事業開始は遅れる。特に中国国内については、風評被害の影響が強く、販路開拓に時間を要している。長崎からの輸出が始まったため、販路開拓を最優先にANA上海と連携の上調整中。	衛生証明書発行手続き簡素化のための厚労省、冷凍食品検査協会への調整済み
3 アジア向け「農産物」輸出事業	関空運輸株式会社	関空を拠点として日本の農産物等を産地直送でアジア各国へ安定的に輸出供給し、関空の活性化を図るとともに需要の掘り出しを行う。将来に不安を抱いている農家に新しい需要を創り出し、安定して農業に取り組みめる環境を目指す。	「東日本大震災」の影響で事業開始は遅れる。現在、10月20日～開催の「ALL 関西フェスティバルinバンコク」のシッパーとして取り組みを行う。農産物だけでなく、加工品等にも取り組む。	ALL関西「食」輸出セミナーでのPR「関空ワンストップサービス」
4 リードタイム短縮型新商品	株式会社 南海エクスプレス	日本で初めて旅客ターミナルカウンターを利用し、出発直前まで受託を可能とする緊急輸送の実現を目指す	旅客ターミナルカウンター利用については、航空機の定時運行、安全面の確保から今後の課題だが貨物地区のカット時間を2時間→1時間に早めて営業を開始、段階的にカット時間を早める計画	航空物流コミュニケーションセミナーin京都でのPR
5 関空における食料品輸出梱包の低コスト化及びフルパッケージサービス	ワコン株式会社	関空「食」輸出支援プログラムを実現するために、汎用性の高い低コスト梱包資材を開発、保冷材の選定基準を策定する、関空内で小口梱包サービスを低コストで提供することを目指す。	「東日本大震災」の影響で「食」輸出が停滞している中、現在再開に向けて、低コスト梱包を開発中。バンコクでの物産展の鮮魚及び牛肉の輸出に同社開発の梱包資材を利用予定。	バンコク物産展のシッパー「関空運輸」の紹介

【KIX AIR CARGO MEETING】『医薬品』『食』『地域』を中心に荷主企業・貨物事業者・エアラインが相互にコミュニケーションを深め、よりビジネスに直結するセミナー等を開催。2012年度も継続して開催予定。

日時	イベント名	場所	内容
2011年5月27日	第2回医薬品業界セミナー	関西国際空港	・荷主企業によるKIX-Medica利用状況の紹介 ・上屋オペレーターによる医薬品取り扱いサービスの紹介
2011年6月29日 ～7月1日	医薬品・化粧品物流搬送EXPO	東京ビックサイト	・医薬品専用共同定温庫『KIX-Medica』の紹介 ・共同出展社と共に『KIX COOL CHAIN AREA』のPR
2011年7月14日	京都・滋賀荷主セミナー	グランヴィア京都	・KIAC、NEXCO西日本、エアラインによるサービスの紹介
2011年7月16・17日	関空旅博	関西国際空港	・3.11 東日本大震災における放射能風評被害対応 ターミナルビル4階にて関西特産物の『食』安心・安全コーナーを設置
2011年7月22・23日	『食』輸出セミナー・商談会	関西国際空港	・『食』輸出の取組についてのPR ・2011年度海外での物産展、商流についての説明
2011年10月20日 ～10月31日	ALL関西フェスティバルinBKK	伊勢丹バンコク店	・関空を利用した航空輸出拡大のため、関西特産物をバンコクでマーケティング ・同時に各自治体の観光PRを行なう。
2012/3/14(予定)	東南アジアセミナー	新阪急ホテル	・関空に就航しているエアラインによる旅客・貨物利用促進セミナー
2012年6月27日 ～6月29日(予定)	医薬品・化粧品物流搬送EXPO	東京ビックサイト	・共同出展社と共に『KIX COOL CHAIN AREA』のPR ・関空イノベーション国際戦略総合特区PR

医薬品輸出入におけるKIX-Medicaの効果『クールチェーン』

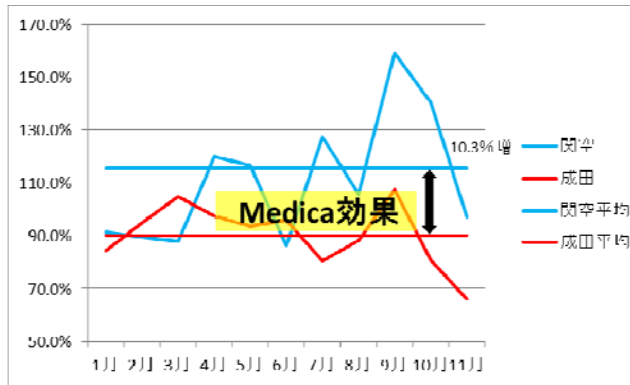
2010年9月30日運用開始のKIX-Medicaの効果

対NRT重量比較 輸入:KIX15.6%増、NRT9.8%増 輸出:KIX10.3%増、NRT9.8%減

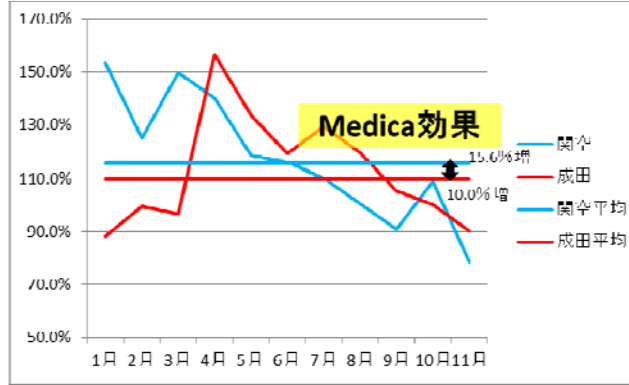
対NRT金額比較 輸入:KIX16.5%増、NRT16.2%増 輸出:KIX2.5%増、NRT26.3%減

『関西イノベーション国際戦略総合特区』との連携による医薬品輸送の更なる高度化を検討

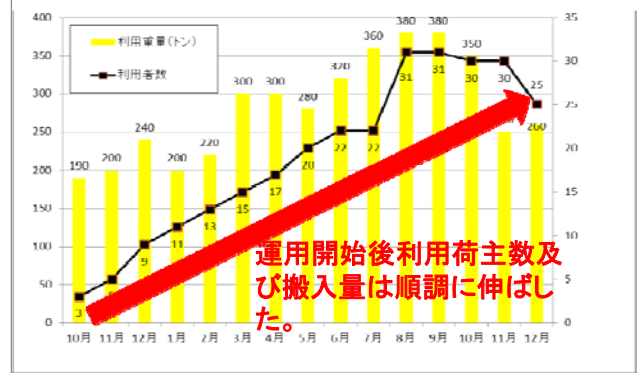
☆輸出重量 対前年同月比(KIX,NRT比較)



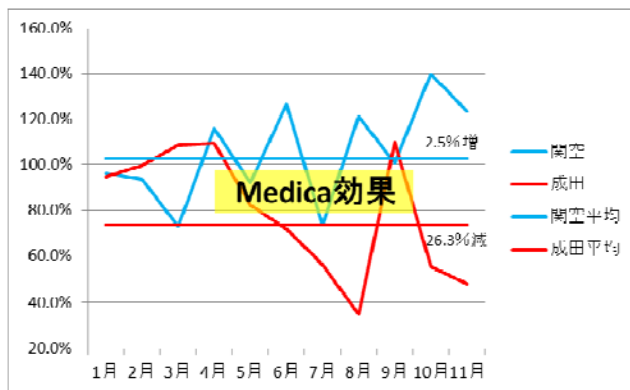
☆輸入重量 対前年同月比(KIX,NRT比較)



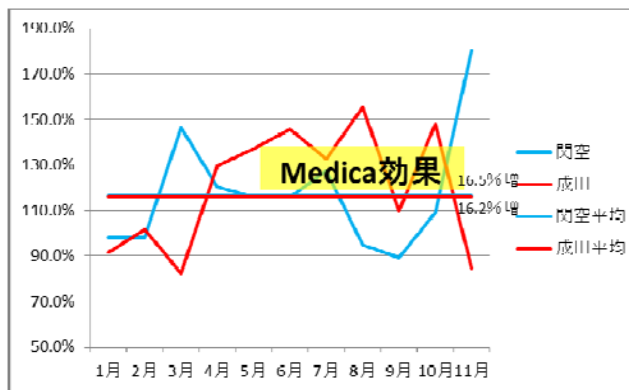
KIX-Medica利用荷主数・搬入量推移



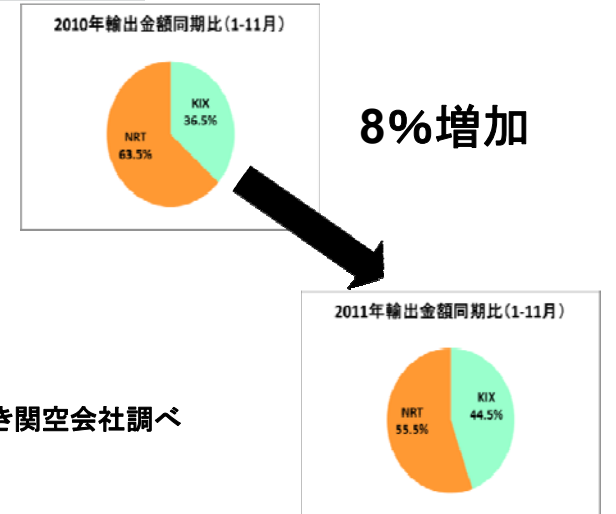
☆輸出金額 対前年同月比(KIX,NRT比較)



☆輸入金額 対前年同月比(KIX,NRT比較)



★輸出額シェア



税関貿易統計に基づき関空会社調べ

『関西イノベーション国際戦略総合特区』における関空の検討事項

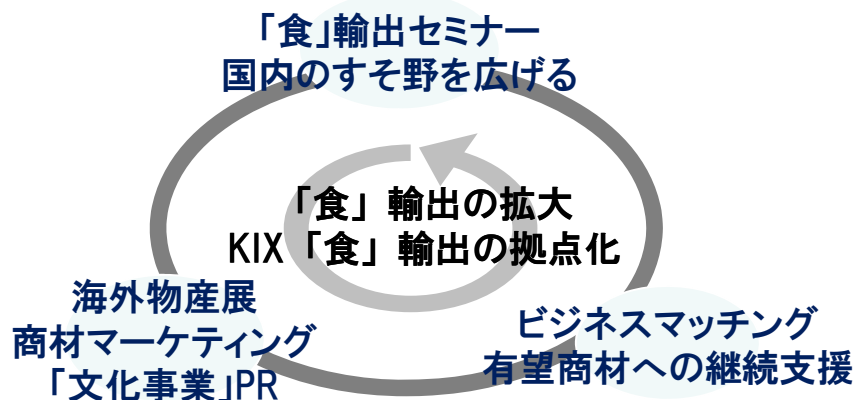
- ① 医薬品・医療機器等の輸入手続きの電子化・簡素化
- ② クールチェーンの強化とガイドライン化
- ③ 国際物流事業者誘致によるアジア拠点の形成

行政、経済界と連携した関空『食』拠点化プロジェクト

国内でのすそ野を広げる取組『セミナー』、海外でのマーケティング『物産展』、継続取引支援を行い関空の食輸出拠点化を図る。

2011年度は伊勢丹バンコク店にて『ALL関西フェスティバル』を開催。近江牛・鮮魚が継続取引に。2012年度は、更なる商材の掘り起し、アジアを面であらえた取組に。

★関空『食』拠点化プロジェクト事業イメージ



★関空ワンストップサービス【平成22年度ニュービジネスモデル認定事業】
→生産者・卸売事業者に対し『食』輸出を国内流通並みの手続きへ



★『ALL関西フェスティバルinバンコク』

→関空を利用した『食』輸出の拡大と文化事業PRによるインバウンド拡大の取組



【会場の様子】



【マグロ解体ショー】



【通天閣ロボショー】

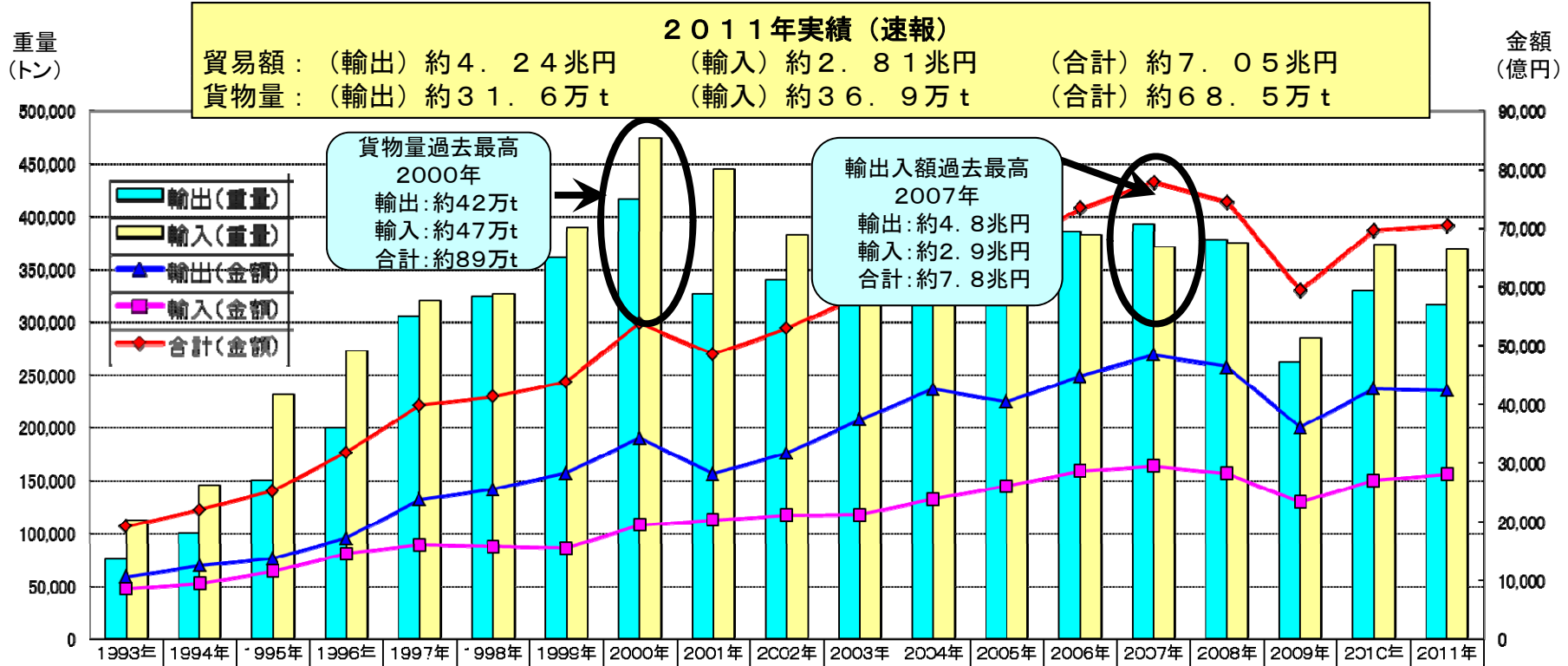


【ゆるきゃらショー】

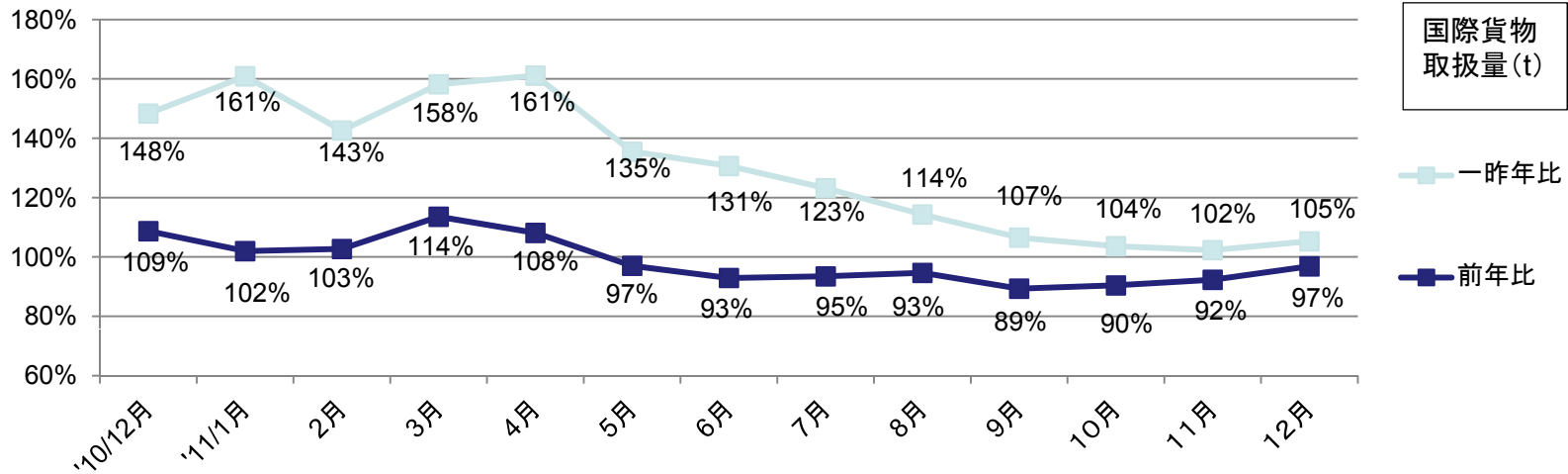
★スケジュール(案) ※その他地域でのマーケティング開催等、下記予定は変更する場合があります。

日程	場所	タイトル	内容
2012年4月17日・18日	関西国際空港	第2回『食』輸出セミナー	・『食』輸出のすそ野を広げるセミナー ・マカオ・タイバイヤーとの商談会
2012年7月下旬頃	マカオ	マカオBtoB商談会	・ホテル・レストラン責任者への試食 ・直接継続取引につながる取組
2012年8月30日～9月9日	バンコク	第2回ALL関西フェスティバルinバンコク	・『食』『文化事業』のPR ・近江牛・鮮魚の更なる深化、新食材の発掘
2012年11月中旬頃	マカオ	マカオフードフェスティバル	・中国本土からの旅行者へ関西『食』『文化』のPR ・マカオBtoB商談会の更なる深化

(参考) 関空の国際貨物動向



国際貨物取扱量推移(対前年比・一昨年比推移)



出典: 大阪税関(貿易統計資料)

国土交通省成長戦略会議報告の概要

関西国際空港のあり方については、伊丹空港を含めた抜本的解決策を成長戦略会議において議論されてきたが、5月17日の最終報告において、関空を首都圏空港と並ぶ国際拠点空港として再生するため、伊丹空港を活用しつつ抜本的なバランスシートの改善による積極的強化を図ることがとりまとめられた。

○成長戦略会議航空分野報告((平成22年5月17日)抜粋)

戦略1～3(略)

戦略4: バランスシート改善による関空の積極的強化

関空について、抜本的にバランスシートを改善し、事業運営の徹底的な効率化を実現することで、

貨物ハブ化、LCCの拠点化に向けた前向きな投資の実行、競争力・収益力の強化を可能ならしめ、

首都圏空港と並ぶ国際拠点空港として再生する。

具体的には、関空の事業価値に加え、伊丹(大阪国際空港)の事業価値や不動産価値も含めてフル活用することとし、持株会社の設立といった方式により両空港の経営統合を先行させつつ、両空港の事業運営権を一体で民間にアウトソースする手法を基本に、価値最大化に向けた民間の経営提案を募集・検討していく。

戦略5～6(略)

関空のバランスシート改善による積極的強化について

関西国際空港の我が国の国際拠点空港としての機能を再生・強化することにより我が国の国際競争力の強化及び関西地域の経済活性化を図るため、新たな統合事業運営会社を設立するとともに、コンセッションを実施。

経営統合の趣旨

1. 国土交通省成長戦略の方針を着実に実現する。

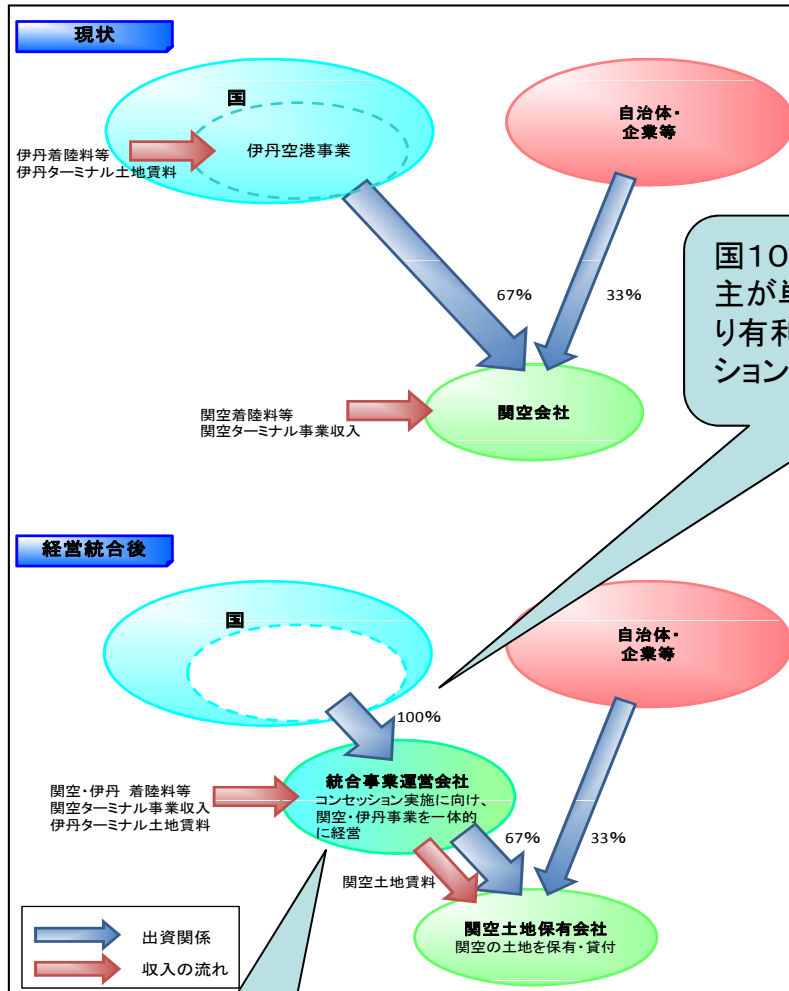
- 関空を首都圏空港と並ぶ国際拠点空港として再生。
- 1.3兆円を超える債務を返済し、健全なバランスシートを構築する。
- 両空港の事業運営権を一体で民間にアウトソース(いわゆるコンセッション契約)する手法を基本に具体的方策を検討、実現させる。

2. 経営統合による収益改善に加え、コンセッションを実現させ、併せて国として以下のような取組みも行うことにより、関空が首都圏と並ぶ国際拠点空港として、関西のみならず日本経済にとって不可欠な人的・物的交流の拠点として機能するよう努めていく。

- オープンスカイ政策の推進により、世界から関空への路線開設を促進する。特に、アジア・ASEAN諸国とのネットワークを充実させる。
- 国際拠点空港として、完全24時間空港で深刻な騒音問題がないという関空の強みを活かせるLCCの就航促進、貨物ハブ等を実現する。
- 国内資本中心による国内線・国際線就航LCC会社について関空を拠点として育成することにより、関空からの国内線就航ネットワークの拡充を図り、内陸ハブとして発展させる。
- 訪日外国人3000万人の達成に向けて関空利用促進プロモーションの強化等を実現する。

関空のバランスシート改善による積極的強化について

関西国際空港・大阪国際空港の経営統合案(イメージ)



国100%出資となり、株主が単一となることでより有利で円滑なコンセッションの実施が可能

統合後、運営権売却

統合事業運営会社

【新関西国際空港(株)】

- 【統合後の資産】
- ・伊丹土地、滑走路等
 - ・関空滑走路、ターミナル等

- (設立の目的・責務)
- ・関空の国際拠点空港としての再生・強化。
 - ・国際競争力の強化及び関西地域の経済の活性化。
 - ・関空会社の債務の確実な返済。
 - ・コンセッションを円滑に実施するための経営基盤の強化。
 - ・関係地方公共団体等関係者との連携・協力等

土地保有会社

【関西国際空港(株)】

- 【統合後の資産】
- ・関空の土地

関空のバランスシート改善による積極的強化について

平成23年5月17日、第177回通常国会において、両空港の公共施設等運営権を設定(コンセッション)するための所要の措置を講ずる法案「**関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律案**」が成立。同年5月25日に**公布**された。

法案成立、公布までの動き

- ・平成23年3月11日 閣議決定。
- ・平成23年4月20日 参院本会議にて可決。
- ・平成23年5月17日 衆院本会議にて可決。
- ・平成23年5月17日 法案成立。
- ・平成23年5月25日 **公布**。

関西国際空港(関空)及び大阪国際空港(伊丹)の設置・管理を行う新関西国際空港株式会社を設立するとともに、公共施設等運営権の設定(コンセッション)を通じた関空債務の早期かつ確実な返済を図る。これにより、関空の我が国の国際拠点空港としての機能の再生・強化及び関空・伊丹の適切かつ有効な活用を通じた関西における航空輸送需要の拡大を図り、我が国の国際競争力の強化及び関西経済の活性化に寄与する。

●**関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律案**

関西国際空港(関空)及び大阪国際空港(伊丹)の設置・管理を行う新関西国際空港株式会社を設立するとともに、公共施設等運営権の設定(コンセッション)を通じた関空債務の早期かつ確実な返済を図る。これにより、関空の我が国の国際拠点空港としての機能の再生・強化及び関空・伊丹の適切かつ有効な活用を通じた関西における航空輸送需要の拡大を図り、我が国の国際競争力の強化及び関西経済の活性化に寄与する。

背景・課題

<関西国際空港(関空)> 関空は、平成23年4月20日、参院本会議にて可決。平成23年5月17日、衆院本会議にて可決。平成23年5月17日、法案成立。平成23年5月25日、公布。

<大阪国際空港(伊丹)> 伊丹は、平成23年4月20日、参院本会議にて可決。平成23年5月17日、衆院本会議にて可決。平成23年5月17日、法案成立。平成23年5月25日、公布。

○ 関空及び伊丹、早期に政府関係への改革措置が開始し、13兆円を超える債務を返済することにより、**健全化/再生と一歩前進することを目指す**。これを踏まえて**自主再生政策の移行、関係各主体の協力を進めなければならない**。

○ **伊丹の再生と一体的な対応**は、関空のキャッシュフローから積み立てる事業資金のみならず、**伊丹のキャッシュフローから積み立てる事業資金も合わせてフル活用**する必要がある。

○ 関空・伊丹の事業内容の最大化とキャッシュフローの平準化は、**両空港の事業協業を一体的にアクトゾーン**（いわゆるコンセッション契約）する**単独協業**に、その可能性を追求する。

法案の概要

1. **関空・伊丹の基本方針**
○ 国土交通大臣は、関空・伊丹の一体的かつ効率的な運営(設置・管理)を行うための基本方針を定めるものとする。

2. **新関西国際空港株式会社の設立等**
○ 関空・伊丹の一体的な運営を行う新関西国際空港株式会社を設立する。
○ 政府は、当時、新関西国際空港株式会社の発行済株式の総数を保有する。
○ 新関西国際空港株式会社の事業の範囲として、以下の事項を定める。
・ 関空・伊丹の空港及び航空保安施設の設置・管理
・ 関空・伊丹の空港ビル等の建設・管理
・ 伊丹の環境対策 等

3. **関空土地保有会社の指定**
○ 関空の空港用地については、国土交通大臣が指定する関空土地保有会社が保有し、新関西国際空港株式会社に貸し付けることとする。
○ 関空の空港用地の新関西国際空港株式会社への貸付料等については、国土交通大臣が認可することとする。

4. **その他**

(1) **協議会**
○ 関空・伊丹の一体的かつ効率的な運営を実施するために必要な協議を行うための協議会について定める。
(1) の基本方針策定時には、協議会の意見を聴かなければならないこととする。
○ 協議会は、新関西国際空港株式会社が主宰する。メンバーは、関空土地保有会社、伊丹の空港ビル事業者及び新関西国際空港株式会社が必要と認める者(国、関係地方自治体、経済界等の関係者)とする。

(2) **PF法の適用**
○ 改正PF法において創設予定のコンセッション型制度を関空・伊丹に活用するために必要な措置等を定める。

↓

関西国際空港を首都圏空港と並ぶ国際拠点空港として再生・強化

国土交通省HP <http://www.mlit.go.jp/policy/file000003.html>

○国土交通省 これまでの主な動き

- ・平成23年12月5日 第1回新関西国際空港株式会社設立委員会を開催。
- ・平成24年 2月7日 第2回新関西国際空港株式会社設立委員会を開催。

○国土交通省 これからの主な予定

- ・平成24年3月中に第3回設立委員会を開催予定。
- ・創立総会の開催等を経て、**平成24年4月1日**に新関西国際空港株式会社を設立、**同年7月1日**に経営統合。